



みよしかおるだより



あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

令和6年度、私は、大阪維新の会大阪府議会議員団副政調会長を担わせていただいております。また、委員会は、万博推進局・府民文化部・IR推進局・スマートシティ戦略部を所管する府民文化常任委員会の委員として、また2025年大阪・関西万博推進特別委員会の委員を担っております。10月と11月の委員会での質疑の一部をご紹介します。

2024年10月10日 府民文化常任委員会 一般審査

Q 万博サポートデスクについて

みよし 万博の入場チケットについて、10月13日から紙チケットの販売が、全国のコンビニエンスストアなどにおいて開始されました。この紙チケットは、当日に会場ゲート前でQRコード付チケットに交換すれば、来場日時予約なしでも入場できることが、これまでと大きく違うところがあるが、多くの来場者が見込まれるゴールデンウィーク期間などの予約が必要な日時に来場したい場合や、駐車場・パビリオンの予約をしたい場合には、ご自身のスマホなどからWeb手続きが必要になる。サポートデスクでは、高齢者などネットに不慣れな方々に対して、どのような支援を行っているのか？

A 総務調整 担当課長 「万博来場サポートデスク」では、Web手続きに不慣れな方々に対して、万博IDの取得やチケットの購入、来場日時予約などのWeb手続きについて、利用者のスマホやサポートデスクで用意したPC画面を見ながら、スタッフが対面形式で手続きのサポートしているところ。●こうしたチケットに係るWeb手続きの支援だけでなく、パビリオンの展示内容や催事の案内に加えて、会場へのアクセス方法など、万博関連の情報発信も積極的に行い、府民・市民の利便性の向上につなげていくこととしております。

お知らせ 「万博来場サポートデスク」が1月11日から31日まで、イオンモール四條畷で開設されます。ぜひこの機会にご利用ください！
イオンモール四條畷(四條畷市) 日時:令和7年1月11日～31日 各日午前10時～午後5時
住所:大阪府四條畷市砂四丁目3番2号 場所:1階 ロデオクラウンズワイドボール前

Q 万博会場内のキャッシュレスについて

みよし 博覧会協会が検討している万博における全面キャッシュレス化では、どのような決済手段が利用できるのか？

A 企画課長 ●大阪・関西万博では、国際博覧会として初めての試みとなる「キャッシュレス決済」の本格導入を行う。博覧会協会は、万博の会場内において、「ミヤクベ!」のほか、約60種類もの決済手段が取り扱われる予定。●一般的なクレジットカードや、交通系ICカードなど、来場者の方々が普段から利用されている様々な決済手段が会場内で利用できる予定。今後詳細が決まり次第、順次公表される。●子どもや学生など、決済手段を持たない方向けに、現金で購入できるプリペイドカードなどのサポート手段も用意されている。

他、●地域での万博PR・大阪ヘルスケアパビリオンにおける健康データの活用について●行政データ等オープンデータ化と利活用●マイド・ア・おおさかについて●ドーンセンターにおける相談事業について●宿泊税の課税免除制度についてを質問しております。



◀インターネット中継をご覧ください。

<http://www.gikai-chukei.jp/>



第39回 府政報告会&意見交換会

2025年1月19日(日)

時間:14時～16時

場所:星田会館(三中校区)
(交野市星田3-4-3)

第40回 府政報告会&意見交換会

2025年2月15日(土)

時間:14時～16時

場所:交野会館(二中校区)
(交野市松塚14-25)

府政相談所

(府民相談会)のご案内

【第7回】2025年1月20日(月)11時～16時 【場所】みよしかおる事務所(交野市私部2-11-30)

発行

みよしかおる事務所

TEL 072-810-7220 FAX 072-810-7221

E-mail 344ishin2@gmail.com

ホームページ <https://miyoshi-kaoru.jp>

みよしかおる

〒576-0052 交野市私部2-11-30 プライムコートA

AIオンデマンド交通モデル事業費補助金について



みよしかおる

移動に不便を感じる住民を救うため、スマートモビリティと呼ばれるこれまでになかった新しい移動サービスの必要性が高まっている。

中でもAIオンデマンド交通には、私も特に期待してきたところ。それぞれの地域特性に合わせ、既存交通との調整や住民理解の促進などをしっかりと行いながら事業モデルを作り、地域に根付くサービスをめざす必要があります。

府内の移動利便性の向上のため、もっと多くの市町村・地域に取組を拡大していくべき。AIオンデマンド交通モデル事業費補助金がどういったモデル作りをめざし、それをどう横展開していくかなどの事業の狙いと、実際に採択3地域(豊能町、堺市、東大阪市)での取組で得られた成果や課題などの実績について伺います。



2024年8月 広陵町のAIオンデマンドバスを視察



戦略企画課長

● AIオンデマンド交通を含む移動サービスは、いかに使い続けてもらえるかが非常に重要。住民周知や利用促進を粘り強く行うとともに、地域のニーズを見極めながら実証を重ね、収支構造を確立したうえで、持続可能な事業モデルを作っていく必要がある。

● この補助金は、持続性の確保の点から、交通事業者が主体的に事業を実施し、それを地元市町村がサポートする体制を対象としている。このように交通事業者の取組とすることで、事業者自らによる積極的な事業改善が期待できる。さらに、交通事業者は広域にわたる営業エリアや市域をまたがる路線を有しているため、一つの地域のモデル作りが市域を超え、利用者ニーズに沿った事業エリアの拡大につながる。

● 府内市町村への横展開に向けては、市町村AIオンデマンドワーキンググループを開催し、これまでに府内35市町村に参加いただき、採択事業者らによる取組内容の共有などを通じ、今後の施策検討の選択肢にAIオンデマンド交通が含まれるよう働きかけを行っている。

● 採択3地域の実証では、府内の先行モデル作りをめざし、特に事業性の確保についての取組が進められた。利用者からは自宅の近所まで迎えに来てくれる便利さや、アプリ予約の使い勝手の良さなどの評価をいただいたが、AIシステムの利用料をまかなう収支構造の確立や、予約の集中への対応など課題がある。

● 府の補助は昨年度までであるが、この補助をきっかけとして、各地域の実証は今年度も実施される。引続き交通事業者や市町村と連携して取り組んでいく。



みよし要望

路線バス事業者がこれまでなんとか路線維持をしてくれていたが、私の地元交野市においても来年の3月に廃止となる路線があります。AIオンデマンド交通など新しいモビリティサービスに大いに期待するところであるが、事業性の確保などが大きな課題。路線バスとオンデマンドバスやタクシーなど、複数の移動サービスを結び付ける必要があると考える。複数の自治体で取り組むことも含めて、広域自治体である大阪府が、各局で連携しながら役割を発揮していただきますよう要望します。

その他 ● 御堂筋オータムパーティ ● 若者に対する消費者対策事業 ● 高齢者の消費者被害防止対策事業 ● 宿泊税を活用した事業の効果検証について ● 大阪ヘルスケアパビリオンにおけるソフトレガシーについて ● スマートシティ戦略推進アドバイザー派遣事業費について ● 大阪広域データ連携基盤整備事業費 を質問しております。インターネット中継をご覧ください。http://www.gikai-chukei.jp/

